



明日香野だより

毎日楽しい、ちょっと食べる喜びをお届けしている明日香野SNS。
今月もトピックスやお客さまの声をご紹介します。

公式SNS情報

2025.10.31 集計

明日香野 X(Twitter) 閲覧数 429,718 フォロワー数 76,727人

明日香野 Instagram 閲覧数 1,501,763 フォロワー数 29,699人



明日香野は創業50周年を迎えました

創業として伝わる1975年から半世紀。『明日香野』（明日香食品グループ）は一つの大きな節目を迎えました。

まず、これまで多くの消費者の皆様、顧客であるスーパーマーケット様、多くの仕入れ先様に長年ご愛顧いただきました。弊社が50周年を迎えることができましたこと、皆々様の温かいサポートのおかげです。心から感謝を申し上げるものです。また、弊社を長年に渡り支え続けてくださっている過去の、そして現在の多くのスタッフの尽力に心から感謝を申し上げます。大阪で誕生した弊社は、当初商社として事業を開始しましたが1981年に工場生産を開始し、和菓子の産業革命に参画しました。そして1992年に「透明わらび餅」を開発して「わらび餅の産業革命」に挑戦し、皆様に気軽にわらび餅を食べる喜びをお届けするイノベーションを起こしました。その後も様々な商品を効率的に製造することで「和菓子の産業革命」を継続してまいりました。

また1993年にはラジオCM、2001年にはテレビCMを放送し、スーパーマーケット和菓子業界におけるマーケティング部門のパイオニアとなりました。2000年には関東に進出、2003年には千葉工場を操業開始し関西和菓子製造社の関東進出の嚆矢となりました。このように創業以来、日本の伝統和菓子を受け継ぎ守りながら、そこにイノベーションを加えて『明日香野』は発展してまいりました。

その中で常に『明日香野』が大切にしてきたのは、消費者の皆様が「お得感」を持って、手軽に毎日食べて楽しんでいただける商品をお届けすること、それができる力を常に磨き上げることを努力すること、そのためにコツコツ毎日積み上げてきた歴史でした。2008年以来、新しい経営体制への移行が開始いたしました。2011年には現在の経営陣の祖型が定まり、2012年中長期経営計画において、創業以来の歴史を総括し、未来を見据えて初めて「『ちょっと食べる』喜びを毎日世界へ」というミッションを定めました。

毎日食べる3度の食事。人間の「生」を支える基礎となっています。私たち『明日香野』がお客様に提供するものは、3度の食事に加えて食べる嗜好食。3度の食事のように「生」を支えるわけではありませんが、皆様の「ちょっとした喜び」を支える大切な基礎となっています。家族の団らんのとき、ちょっと疲れたとき、ちょっとお腹がすいたとき、自分にご褒美を上げたいとき、新しい食べ物に興味を持ったとき。ついつい手が出るおいしい食べ物。「ちょっと食べる」ことは人生をほんの少し、でも毎日「喜び」で埋め尽くしています。

それからの13年、現在の経営陣の元で「和菓子専科」そして「スーパーマーケット向けもち・団子集中」などのビジョンを定め、いつもの「お得な」和菓子を毎日お届けしつつ、「ラムネわらび餅」「大人の団子」などの多くのヒット作を作ってまいりました。品質管理の高度化を進めた結果、この10年でお客様のお申し出は半減しております。またSNSに長年注力し総フォロワー数15万人を超えるスーパーマーケット業界のSNSリーディングカンパニーとなっております。働き方改革を進めて従業員の休日を20%以上増加させ、残業時間は55%低下させました。同時に「週休2日・3日選択制」「外国人が快適に働ける職場構築」「アスリート雇用」などを進めてスタッフの皆さんの多様な人生設計や「喜び」を支援してまいりました。同時に、組織再編による収益性の向上(営業利益約5.6倍を達成)を達成、債務は大幅に縮減されてほぼ無借金の強い財務体質を構築してまいりました。その中で、若手の登用を進めることで、60代中心で構成されていた経営陣は30代から50代で構成されるまでに若返っております。

このように『明日香野』は、伝統を保守しながら、改革イノベーターであり続ける遺伝子をしっかりと受け継ぎ発展させております。これまで、当社の主要な顧客である大手スーパーマーケット様は常に拡大してきました。その意味で我々のビジョンは正しかったと確信しております。その一方で、今後日本の人口減少は年間100万人を超える時代が目の前に迫っております。長期的には市場の縮小と人手不足が見込まれる厳しい「生き残り競争」時代に入っております。この時代は同時に「残存者利益の時代」ともなると考えております。この時代に対応するため『明日香野』は現経営体制の元、全社を挙げて強靱な利益能力、健康な財務体質と、多様な働き方を磨き上げて参りました。この成果を生かし、さらに発展させることで、ミッションである「『ちょっと食べる』喜びを毎日世界へ」を果たしてまいります。

今後とも消費者の皆様「お得感」のある「ちょっと食べる喜び」をお届けすることで、顧客であるスーパーマーケット様や仕入れ先様、そしてスタッフの皆様「安心」を持っていただけるパートナーであり続けたいと考え、一意専心、努力してまいります。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年11月

代表取締役社長 此下 竜矢





1975 年 大阪府枚方市で創業
2000 年 東京都港区高輪に東京営業所を開設
2013 年 本社を八尾市老原に移転

明日香野は 季節に合わせた和菓子を お届けし続け50年

ここ最近にお届けした和菓子の一部をご紹介します。覚えてる和菓子はありますか？

2021 年 西日本商品



ちよっといいぜんざい 塩豆餅 アーモンド餅 えび餅

2022 年 西日本商品



ミルクあん大福 大人の団子 えびごま塩 華もち

2023 年 西日本商品



わらびグミみかん きびだんご 秋わらび大福

2024 年 西日本商品



大人の団子 もっち餅

2025 年 西日本商品



無着色の白い桜餅 あんみつ風葛餅 生わらび餅

2021 年 東日本商品



木の实づくし ラムネわらび餅 焼き餅

2022 年 東日本商品



おいもちゃん きびだんご モンブラン風大福

2023 年 東日本商品



くるみゴツゴツあんこ餅 もっちり生ういろう きな粉くるみひねり餅

2024 年 東日本商品



黒糖本わらび餅 夏あんこ餅 坊ちゃん風三色団子

2025 年 東日本商品



バター香る塩大福 芋きぶん きな粉合わせ餅

これからも明日香野は「ちよっと食べる」喜びを毎日お届けいたします。

明日香野社員の声

明日香野では東西合わせて約350の方が働いています。
今回は東西から代表して 4 名の方にインタビューしてみました。



●名前：中野 文子
●所属部署：西日本事業部
●一番好きな明日香野商品：わらび餅
●明日香野での思い出：一番の思い出は2013年の八尾工場への引越しです。商品の出荷を1日も止めずに生野工場と松原工場それぞれの工場から1週間程かけて引越をしました。その間もお客様からの注文を処理し、出荷から納品まで滞りなく行えたこと。皆がしっかりと準備と協力をし、欠品を絶対にしないという強い思いがあったからこそ実現出来ました。今振り返っても明日香の良い文化が詰まった思い出です。
●今後の抱負：明日香野のミッションである「『ちよっと食べる』喜びを毎日世界へ」をもっと多くのお客様へお届けすることです。美味しいこと、お得なこと、ワクワクすること、ホッとすること、四季を感じること、ちよっと食べる喜びは無限大です。明日香野の商品や活動を通じてお客様に沢山の食べる喜びをお届けして参ります。



●名前：千本 恵紹
●所属部署：広報
●一番好きな明日香野商品：大人のくちどけわらび餅
●明日香野での思い出：明日香野で過ごしてきた7年間はすべての日々がよい思い出です。特に印象深い思い出は、一年目の小餅の製造です。今でも忘れることはないのですが、機械が止まることなく夜中まで製造し続け終わったかと思うとまたすぐ製造が始まる。小餅を製造する夢を見て目が覚める、そんな日々を送っていたのが、今でも鮮明に覚えています。その時の経験があるからこそ、今の自分があります。
●今後の抱負：製造現場での7年間は、忍耐力、管理能力、責任感などの人間力が培われました。その培われた人間力で、グループ会社全体の更なる飛躍のために人が充足するように、いい人材を獲得する。その1点に尽力し、いずれは、このリクルート部門のトップに立ち、部下を持ち、人材の獲得から人材の育成まで幅広く手掛けていきたいです。



●名前：桑崎 日佐乃
●所属部署：東日本営業部
●一番好きな明日香野商品：きびだんご。片手で食べられるサイズ感にくわえて、きな粉の香ばしさと団子の甘さのバランスが好きです。
●明日香野での思い出：入社して20年目になります。品質管理部と営業部の企画開発の担当を行き来し様々な経験をさせていただきました。特に消費期限が3日間の商品を開発する上で欠かせないのは、経時による品質の変化です。原料素材によって異なる現象や変化が発生しますので、過去の経験やテスト、事前に情報収集等を行い、商品開発を行っています。現在のわらび餅やあんこ餅に至るまでに何十回もの粉や配合のテストを行ったときのことは、商品開発のおもしろさと大変さを実感できた思い出のひとつです。
●今後の抱負：いろいろな人と関わり合いを持ちながら、学んだ知識を後輩に継承できたらと思っています。50周年アニバーサリーイヤーにはドカンと大ヒット商品を生み出したいですね。



●名前：菊間 ほのか
●所属部署：東日本営業部
●一番好きな明日香野商品：ラムネわらび餅
●明日香野での思い出：明日香野に新卒で入社して3年が経ちました。入社当初は営業という仕事に右も左もわからず、ただ一生懸命にがむしゃらに走り続けていた日々でした。一番の思い出は、競合他社のチラシ枠を自分の提案で獲得し、店頭で明日香野商品が大量に並んでいるのを見たときです。あの瞬間は、言葉にできないほどの喜びを感じました。これからも初心を忘れずに、一つひとつの提案に真摯に向き合っていきたいと思っています。
●今後の抱負：これからも私らしく、明日香野商品を多くのお客様に届けられるよう、日々の営業活動に励んでいきたいと思っています。

聞いてみました🐼 行事やイベントで和菓子を食べるのはどんな時？



西日本商品

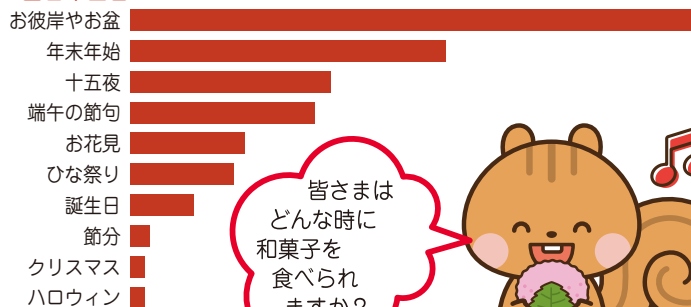


東日本商品



10月から東西で販売中の「明日香野総選挙」シリーズ。購入者さまを対象にキャンペーンを実施中。応募時に「あなたは行事やイベントで和菓子を購入または、お召し上がりになりますか？」と質問してみました。皆さまからいただいた回答をご紹介します。

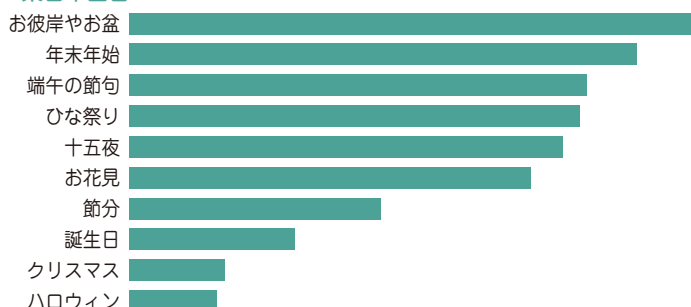
<西日本回答>



皆さまは
どんな時に
和菓子を
食べられ
ますか？

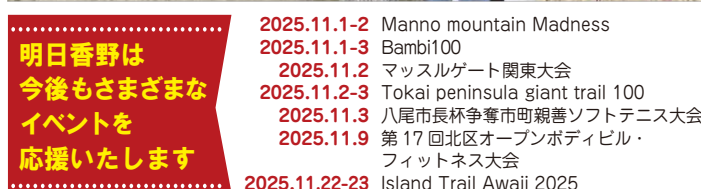


<東日本回答>



明日香野のスポーツコミュニティ応援!! 2025年10月

「ちょっと食べる」喜びを毎日世界へをミッションに掲げる明日香野は、イベントや大会に和菓子をお届けして全国各地のスポーツコミュニティを応援しています。10月もたくさんのスポーツコミュニティを応援させていただきました。



- 2025.11.1-2 Manno mountain Madness
- 2025.11.1-3 Bambi100
- 2025.11.2 マッスルゲート関東大会
- 2025.11.2-3 Tokai peninsula giant trail 100
- 2025.11.3 八尾市長杯争奪市町親善ソフトテニス大会
- 2025.11.9 第17回北区オープンボディビル・フィットネス大会
- 2025.11.22-23 Island Trail Awaji 2025

和菓子専科明日香野は、2025年に創業50年を迎えました。

明日香野【公式】



X(Twitter)



Instagram

ちょい食べ明日香野



X(Twitter)



Instagram